

市指定

所在地：味間南

あじまみなみほうきょういんとう

## 味間南宝篋印塔

俗に皇妃塚こうひと呼ばれている。風化の著しい宝篋印塔であるが、制作年代は南北朝時代を下らないとされる。

基壇は複弁反花座を上部に施し、台座には四方に輪郭をとりその中に格狭間を描き、台座上部にも反花座をもつ。軸石は、四面に月輪を刻み、その中に金剛界四仏の種子を刻む。笠石は軒下に二段の繰り出しをつけ、隅飾り突起はほぼ直立して立つ。相輪は上部を欠くが伏鉢ふくばらの上に請花うけばなを刻み、九輪の五段目までを残す。

高さ101cm。

